

令和8年度

第1学年社会科年間指導計画・評価計画

【地理的分野】

月	単元名	時数	評価規準	(1)知識・技能 (2)思考・判断・表現 (3)主体的に学習に取り組む態度	評価方法
4	【地理的分野】	5	(1)	・緯度と経度,大陸と海洋の分布,主な国々の名称と位置などを基に,世界の地域構成を大観し理解している。	テスト レポート
5	第1編 第1章 世界の姿		(2)	・世界の地域構成の特色を,大陸と海洋の分布や主な国の位置,緯度や経度などに着目して多面的・多角的に考察し,表現している。	テスト レポート
			(3)	・世界の地域構成について,よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究している。	レポート パフォーマンス評価
6	第2章 日本の姿	5	(1)	・我が国の国土の位置,世界各地との時差,領域の範囲や変化とその特色などを基に,日本の地域構成を大観し理解している。	テスト レポート
			(2)	日本の地域構成の特色を,周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに着目して多面的・多角的に考察し,表現している。	テスト レポート
7			(3)	・日本の地域構成について,よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究している。	レポート パフォーマンス評価
9	【地理的分野】 第2部 第1章 人々の生活と環境	9	(1)	・世界各地で顕在化している地球的課題は,それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて地域での課題が異なることを理解している。 ・各州での人々の生活を学び,各州で文化の違いを大観している。	テスト レポート
			(2)	・地域で見られる地球的課題の要因や影響を,州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して,それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し,表現できる。	テスト レポート
			(3)	・世界の諸地域について,よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追及しようとしている。	レポート パフォーマンス評価
10	第2章 世界の諸地域	21	(1)	・人々の生活は,その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり,その場所の自然及び社会的条件に影響を与えたりすることを理解している。 ・世界各地における人々の生活やその変容を基に,世界の人々の生活や環境の多様性を理解している。その際,世界の主な宗教の分布についても理解している。	テスト レポート
			(2)	・世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を,その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し,表現している。	テスト レポート
11			(3)	・世界各地の人々の生活と環境について,よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	レポート パフォーマンス評価
12					
1	第2章 世界の諸地域	20	(1)	・世界各地で顕在化している地球的課題は,それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて,現れ方が異なることを理解している。 ・世界の各州に暮らす人々の生活を基に,各州の地域的特色を大観し理解している。	テスト レポート
2			(2)	・世界の各州において,地域で見られる地球的課題の要因や影響を,州という地域の広がりや地	テスト

3				域内の結び付きなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。	レポート
			(3)	・世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	レポート パフォーマンス評価

[歴史的分野]

月	単元名	時数	評価規準	(1)知識・技能 (2)思考・判断・表現 (3)主体的に学習に取り組む態度	評価方法
4	【歴史的分野】 第1章 歴史のとらえ方・調べ方	2	(1)	・年代の表し方や時代区分の意味や意義についての基本的な内容を理解している。 ・資料から歴史に関わる情報を読み取ったり、年表にまとめたりする技能を身に付ける。	テスト レポート
			(2)	・時期や年代・推移・現在の私たちとのつながりに着目して歴史上の人物や文化財、出来事などから適切なものを取り上げ、時代区分との関わりなどについて考察し表現している。	テスト レポート
			(3)	・私たちの歴史につて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追及している。	レポート パフォーマンス評価
5	第2章 原始・古代の日本と世界	18	(1)	・世界の古代文明や宗教のおこりを基に、世界各地で文明が築かれたことを理解している。 ・律令国家の確立に至るまでの過程、摂関政治などを基に、国際的な	テスト レポート
6			(2)	・時期や年代、時期、推移、現在の私たちとのつながりなどに着目して歴史上の人物や文化財などから適切なものを取り上げ、時代区分との関わりなどを考察している	テスト レポート
7			(3)	・私たちの歴史について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を追求している。	レポート パフォーマンス評価
9	第3章 中世の日本と世界	15	(1)	・鎌倉幕府の成立、元寇（モンゴル帝国の襲来）などを基に、武士が台頭して主従の結び付きや武力を背景とした武家政権が成立し、その支配が広まったこと、元寇がユーラシアの変化の中で起こったことを理解している。 ・南北朝の争乱と室町幕府、日明貿易、琉球の国際的な役割などを基に、武家政治の展開とともに、東アジア世界との密接な関わりが見られたことを理解している。 ・農業など諸産業の発達、畿内を中心とした都市や農村における自治的な仕組みの成立、武士や民衆などの多様な文化の形成、応仁の乱後の社会的な変動などを基に、民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解している。	テスト レポート
10			(2)	・武士の政治への進出と展開、東アジアにおける交流、農業や商工業の発達などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現する。 ・中世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。	テスト レポート
11			(3)	・中世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	レポート パフォーマンス評価
12					
1	第4章 近世の日本と世界	10	(1)	・産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりなどを基に、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解している。 ・社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどを基に、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解している。	テスト レポート
2			(2)	・交易の広がりとその影響、統一政権の諸政策の目的、産業の発達と文化の担い手の変化、社会の変化と幕府の政策の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	テスト レポート

			・近世の日本を大観して，時代の特徴を多面的・多角的に考察し，表現している。	
		(3)	・近世の日本について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	レポート パフォーマンス評価